

ちこり通信 2021



ちいきとこどもリーガルサービスセンター通信



第14号(2021.8.1)

発行：獨協大学地域と子ども
リーガルサービスセンター

センター長からのご挨拶

地域と子どもリーガルサービスセンター長

花本 広志

新型コロナウイルスの感染拡大が終息しないまま、二度目の夏を迎えました。連日厳しい暑さが続いています。みなさまがたにおかれましては、それぞれの領域において必要とされている活動に従前にもましてご活躍のことと拝察いたします。この間、当センターも、感染拡大防止に最大限留意しつつ、活動を継続してまいりました。みなさまがたにおかれましては、これまでどおり当センターの活動に御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言・まん延防止等重点措置による行動制限等から、身体的にも精神的にもストレスのかかる日々が続きます。その影響がさまざまな面で子どもたちに及んでいないか心配なところです。当センターとしても、その点にこれまで以上に注視して対応していきたいと思っております。

他方で、オンラインによる相談対応やオンラインによるイベントや講座開催など、必要に応じて、当センターの活動のオンライン化も進めているところです。例年好評の夏休み子ども法教育ワークショップも、昨年度に引き続き、今年度もオンライン開催の予定です。

当センターの活動は、一部、不自由になっているところもありますが、みなさまと連携・協力しながら、「子どもの最善の利益」を理念として、可能な限りの努力をしていきたいと考えています。

今年度も、よろしくご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

P1 センター長からのご挨拶

P2 2020 年度

センター相談支援活動の概要

P3 Coffee Break

☆ちこりギャラリー☆

P4 OnLine

2020 年度

オンライン開催講座特集

P8 Information

地域と子ども

リーガルサービスセンター

からのお知らせ

2021 年度開催予定

講座・イベント





2020 年度 センター相談支援活動の概要

センター長 花本 広志

1. 相談活動

2020 年度の新規相談件数は、98 件で、一般相談が 74 件、コンサルテーション（子どもに関わる NPO、学校、行政機関等から、子どもや親、関係先への対応や連絡先について寄せられる相談）が 20 件、その他が 4 件でした。昨年度（115 件）から、約 15%のマイナスですが、コロナ禍で業務が大きく制限されていた点を考慮すると、例年以上の件数に匹敵するものと思われる。

2019 年度以前からの継続している件数は 24 件あり、これに新規受付件数を加えると、相談ケースの総数は 122 件となります。

新規受付件数のうち 61 件は、センター相談員による聞き取り・助言で、21 件は専門相談で対応し、7 件は他の専門機関等への紹介・連携等を行いました。

2. 相談内容

新規相談件数のうち、88 件は埼玉県内からのものであり、埼玉県外は 3 件、不明は 7 件でした。新規相談の内容は、2020 年度も例年同様、発達障害、不登校・引きこもり、子どもの心理面での不安が上位を占めており、また、家族関係・親子関係の問題、離婚・DV の問題、法的支援、学校等の対応の問題など、多岐にわたっています（表 1）。

発達障害、不登校・ひきこもり、子どもの心理面での不安、離婚・DV の問題は例年多く寄せられる相談内容であり、その傾向は 2020 年度も同じでした。また、学校等の対応への苦情等についても、件数が特に多いわけではありませ

んが、毎年相談が入る状況である点も従来どおりです。

※1 相談内容については、1 件の相談内容が複数の項目に該当する場合も少なくないが、その場合は、相談者の主訴に合わせていずれかの項目に振り分けてある。

◆表 1：新規相談内容

発達障害	18
子どもの心理面での不安	16
不登校・引きこもり	11
家族関係・親子関係の問題	9
法的支援	8
離婚・DV の問題	8
養育・親権の問題	7
学校等の対応の問題	5
虐待・養育困難	3
いじめ	3
非行・虞犯	3
その他	7
計	98

◆表 2：相談対応方法

電話対応	471
対面：センター内（来所）	55
対面：センター外（訪問）	13
メールでの対応	22
郵便・FAX	3
その他	19
計	583

Coffee Break



◆対応内容

相談	222
連携・調整	173
獨協地域と子ども法律事務所との連携	41
情報提供・報告	42
経過観察・観察、その他	27
専門相談	30
事務局対応	33
その他	15
計	583

3. 相談対応

2020年度の相談対応件数は、のべ583件でした。昨年度(800件)から約37%減となりましたが、コロナ禍のため、専門相談を中止したほか、相談対応も相談員の在宅勤務による電話対応のみとせざるを得なかったことが大きく影響したものとされます。

対応方法としては例年どおり、電話での相談対応が大半を占めています。初回の相談は電話で受付けており、その後は、電話相談、来所による面談、家庭訪問、診察への同行や学校等との話し合いの場への同席などを行っています(表2)。ある程度長期にわたり継続支援しているケースについては、メールによる相談を受ける場合があります。

相談内容は、ケース毎にさまざまあるため、各ケースに応じたオーダーメイドの対応を行っています。相談スタッフによる傾聴や情報提供で終結する場合がありますが、長年の活動の成果として、ネットワークづくりの手法が確立しており、医療、心理、教育、福祉、行政、法律等の各分野との連携を行い、支援のネットワークを構築するケースが多くなっており、その傾向は2020年度も同様でした。

☆ちこりギャラリー☆ センターのInstagramに掲載した 写真のミニギャラリーです。



・ハートライアングル共催 2020/10~2021/03

おやこ広場「とらいあんぐる」

一環境に合わせた開催方法を模索中

講師：柳田 ^{やなぎた}悦子氏(ハートライアングル)
 山本 ^{やまもと}多美子氏(ハートライアングル)
 星島 ^{ほしじま}由香(当センター相談員)

講師の資格等…保育士/幼稚園教諭/特別支援学校教諭
 /埼玉県子育てアドバイザー/食育インストラクター/タッチケア指導
 者/ペアレント・トレーニング講師/ペアレント・プログラム講師 他

「おやこ広場とらいあんぐる」(以下、「広場」)
 は 2020 年 3 月(2019 年度)から対面開催を中止
 とし、2020 年 10 月(2020 年度)よりオンライン
 開催でお届けしています。

正直に申しますと、オンライン開催では、対
 面開催にはなかった悩みが生じています。私た
 ちの「広場」は「共感」「共有」を大切な核と位
 置付けた体験型を目指しています。やりとりや
 掛け合いを楽しみながら、「親子さんと一緒に
 『広場』を作っていく」という感覚を持ってい
 たいのです。初めて参加される親子さんの場合、
 「視聴だけかと思ったら、一緒に体を動かしたり
 、歌ったりするの？」と少し戸惑われたかも
 しれません。そうなのです。まさにそこが、私
 たちがオンラインで表現することが難しいと
 感じるところなのです

テレビやパソコン、タブレットやスマートフ
 オンなどで興味関心のある映像を視聴するこ
 とは手軽で楽しく、今の社会環境になくはな
 らないツールです。しかし、「広場」のオンライ
 ン開催では、「参加者の主体性」もプラスして一
 緒に場を作っていきたいと考えています。

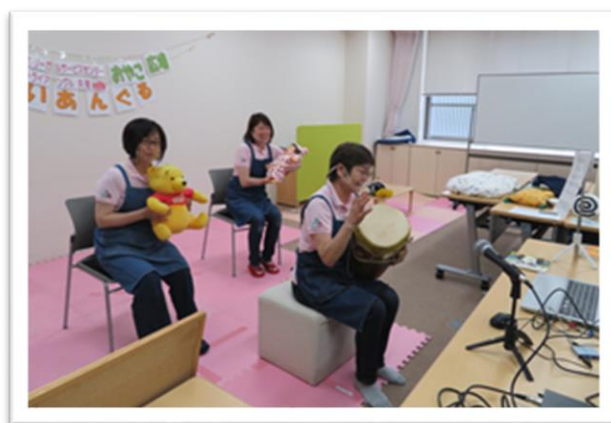
「子育て」は子どもを育てる大人はもちろん

のこと、子ども自身も、また地域社会も、「すべ
 てが主役」だと思います。子育てに携わる大人
 は、世の中にあふれる情報を選び取る力が必要
 であり、主体的行動も求められます。「広場」で
 は、遊びを提供すると同時に、「子どもも大人も
 主役」という意識を共有したいと考えています。
 私たちはこれまで親子さんから多くのことを
 学びました。オンライン開催に変わっても学ば
 せていただきたい、吸収したいという気持ちに
 変わりはありません。そのため、より良いプロ
 グラムを提供できるように、アンテナを張りま
 くっています。

一方、当センターの予防的親子支援の柱とも
 いえる「おやこ大学」の活動については長らく
 見通しが立てられない状況でした。

そこで、2021 年 4 月(2021 年度)より「おや
 こ大学」と「おやこ広場とらいあんぐる」を統
 合し、両方の要素を取り入れた「オンラインお
 やこ大学ひろば」を開催することにしました。
 まだまだ手探り状態が続いており、毎回スタッ
 フ間の侃々諤々(「かんかんがくがく」ってこん
 な字なんですね)が続いているところです。

(文 星島 由香)



・草加市共催講座 2020/11/14

「シアワセに包まれた家族を築こう」 ー私も家族もシアワセになる コミュニケーションのヒント

講師：^{ぬのしば やすえ}布柴 靖枝先生

文教大学 人間科学部 臨床心理学科教授

京都大学大学院博士後期課程修了 博士(教育学)/第71回、第72回国連総会第3委員会政府代表顧問/臨床心理士/家族心理士/社会福祉士/公認心理師/上級教育カウンセラー

ご好評の布柴先生による講座は4回目を迎え、2020年度は「シアワセに包まれた家族を築こうー私も家族もシアワセになるコミュニケーションのヒント」をオンライン開催しました。

講座前半は、前年度までの課題である「わたし、家族がシアワセを獲得する」ための方法を分かりやすくお話頂きました。自己肯定感を持つ事や、他者や自分の価値観を尊重しあう、アサーティブなコミュニケーションなど、「シアワセに包まれた家族を築く」ためのヒントが沢山見つかる内容でした。

後半は、「健康な家族」でいるための方法についてお話くださいました。

近年、夫婦間の争いを子どもに見せる事は、虐待であると知られてきています。しかし、パートナーも子どもも自分の思う通りに行動してくれるわけではありません。アサーティブな関係を作るには、怒りをコントロールするアンガーマネジメントが必要であると教えて頂きました。

「一度に上手くできなくても気づいた時から始めればいい、応援しています」と、講座最後

に布柴先生が仰ったお言葉が胸に沁みました。
(文 秋元 美智子)



・草加市共催講座 2021/01/23

「子どものアレルギー講座」 ー小児の食物アレルギー・アトピー性 皮膚炎治療のポイント

講師：^{よしはら しげみ}吉原 重美先生

獨協医科大学医学部小児科学主任教授

獨協医科大学病院 副院長/獨協医科大学病院とちぎ子ども医療センター センター長/獨協医科大学病院アレルギーセンター センター長/日本小児科学会専門医/日本アレルギー学会指導医/日本体育協会公認スポーツドクター/臨床修練指導医

獨協医科大学の吉原重美先生をお招きし「子どものアレルギー講座ー小児の食物アレルギー・アトピー性皮膚炎治療のポイント」を2021年1月23日(土)にオンライン開催しました。参加者約54名余にご参加を頂き、アレルギーの基礎知識、冬のスキンケア、生活習慣の要点をご講演後、事前に募った質問24件(食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・スキンケアに関

Online

する質問)に1件ずつお答え頂きました。

本講座は好評につき今回で7回目を迎えておりますが、オンライン開催は初の試みになりました。講座後のアンケートから「自宅でリラックスした雰囲気、小児科アレルギーの専門家から貴重なお話を伺えることは、とても有意義な時間であった」とする回答を沢山頂きました。

2021年度も予定している本講座は、正しい子どものアレルギー疾患対策を知る貴重な時間になるかと思えます。まだ、ご参加頂いていない方は是非ご参加ください。吉原先生の分かりやすいお話は、日ごろの疑問やお子さんへのケアにすぐ役立つことと思います。

(文 内山 明子)



・草加市共催講座 2021/03/27

「孫育て講座」 一子育て最強サポーターに！ 講師：金子 弘恵先生

助産師/八潮市立保健センター会計年度任用職員/八潮市、草加市の新生児訪問指導員/八潮市立保健センタープレマサロン講師/草加市保健センターマタニティクラス講師

助産師の金子弘恵先生を講師にお招きし、0歳から3歳までのお孫さんがいる祖父母の方を対象にした、孫育て講座を開催いたしました。

「今と昔」の子育て情報の違い、はじめて親になったママ、パパへの関わり方、サポートをする上での注意事項など、分かりやすくお話し頂きました。

この講座は当初、2月27日(土)に対面開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染率が日々高まる中、対面開催を中止し、1か月延長した3月27日(土)にオンライン開催となりました。

急遽オンライン開催に変更になった為、不安もございましたが、2月に予約してくださった方を始め、新たにお申込みをいただいた方も多数おり、たくさんの方にご参加いただき、関心の高さを感じました。

子育ての情報は様々に変化していきますが、数10年前、初めて親になられた時から、祖父母になられた今も、子を思う気持ちは変わらないものですね。

上手な関わりで、最強のサポーターに！！
(文 遠山 直子)



・地域と子どもリーガルサービスセンター 2021/03/30

春休み子ども法教育ワークショップ

「全集中で解き明かせ！」

ー弁護士と学ぶ刑事裁判の原則

講師：弁護士（埼玉弁護士会）



例年、夏休みに開催していた子ども法教育ワークショップですが、2020年度は、コロナ禍により、春休みのオンライン開催としました。ワークショップは、「全集中で解き明かせ！～弁護士と学ぶ刑事裁判の原則～」と題して、小学校5・6年生約30名に参加してもらい、刑事裁判をテーマとして実施しました。例年、埼玉弁護士会・法教育委員会所属の弁護士さんたちに子どもたちのサポート役をお願いしていましたが、今年度は、埼玉弁護士会の後援もいただきました。

模擬裁判のシナリオは、大人気アニメをモチーフとするもので、小学生がファストフード店で人気アニメ「^{あくめつ}悪滅の^{けん}剣」の限定本を盗まれたところ、犯人であるとして裁判にかけられた被告人が、「人違いだ」として無罪を主張しているというものでした。

子どもたちは、刑事裁判の原則についてミニ講義を受けた後、2～3名のグループに分かれて裁判官役となり、弁護士さんのサポートを受けながら、事案を検討し、被告人が有罪か無罪

かについて、意見を出し合い、あれこれと悩みながら結論を出しました。弁護士さんたちの優しいサポートもあって、「人を裁くとはどういうことか、その際に必要となる原則はどのようなものか」について、実感を伴った理解をしてくれたように思います。

アンケートによると、「おもしろかった(27)」、「まあまあおもしろかった(2)」と、大半の子どもたちが楽しみながら取り組んでいたことがうかがえます。もっとも他方で、難しさについては、「ちょうどよかった(17)」が最多ではあるものの、難しかったとする回答(「とてもむずかしかった(4)」、「すこしむずかしかった(9)」)が半数近くありました。長文のシナリオで、考えるべき点も多かったことから、難しく感じた子どもたちがやや多くなったのだろうと推測しています。この点は、2021年度のワークショップの企画にあたって反省材料にしたいと思います。(文 花本 広志)

～ワークショップ運営事務局よりお礼とご挨拶～

今回は初めて刑事裁判を題材としました。人を裁くとは？刑事裁判の原則って？これらについて、小学生が惹きこまれる導入と質の高い内容展開をご用意くださった講師の皆様ありがとうございました。また、本学、他大学からのご参観の先生方からも貴重な助言を得ました。感謝申し上げます。最後に、実はこのイベントは本学学生が補助として陰で活躍してくれています。学生の支えなくしてこのイベントの成功はありません。皆様に感謝を申し上げつつ、現在はこの夏の開催に向けて、張り切って準備をしている最中です。

(文 木下 沙綾香)

Information

地域と子どもリーガルサービスセンター
からのお知らせ
2021 年度開催予定講座・イベント

ホームページが新しくなりました。



獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターのホームページが、4月から装いも新たにリニューアルされました。

スマホ版も見やすく改善しました。

当センターの活動、イベント、講座、毎月発行して

いるニュースレター「おやこ大学だより」など、子育てに関する情報が満載です！どうぞご活用ください。

Instagram更新中です！

昨年からはじめたInstagram、少しずつフォロワーも増えてきました。^ー^

こちらでも当センターの情報、「おやこ大学だより」など、より手軽に見られます。

当センター近くの自然やお花、おいしいものも載せています。本誌P3にInstagramに載せた写真をピックアップしました！楽しんで頂ければ幸いです…。



2021 年度 開催予定 講座・イベント

・当センター主催講座

◇ハートライアングルコラボ企画

「オンラインおやこ大学ひろば」開催中

◇小学生向け法教育ワークショップ

・8月23日(月) 開催

・草加市共催子育て支援講座

◇ペアレント・トレーニング

・9月9日～12/16

※他、10月、1月に予定しております。

詳細は当センターホームページ、草加市「広報そうか」に掲載予定です。

センタースタッフだより

・コロナ後の社会はどうなってるのでしょうか。子どもたちによりよい社会を残したいものです。(ひ)

・今年の梅仕事完了。蜂蜜レモン、ピワのコンポートも色鮮やかにできました。食育活動活性化を宣言します！(☆彡)

・友達や離れて暮らす家族に会えないなか、当センターの先輩方にはたくさん助けてもらっています。ありがたいことです～☺(沙)

・お家時間が増えて、花壇の花がにぎやかです(内)
・親子で天然石を楽しんでいます♪「癒し」と「浄化」まさに、一石二鳥♪(遠)

・当センターの胡蝶蘭が今年も咲きました！なんとも癒されます…(秋)



発行 獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター

〒340-0041 埼玉県草加市松原 1-1-10

TEL : 048-946-1781 FAX : 048-946-1782 E-mail : kodomoleg@dokkyo.ac.jp

HP : <https://www.dokkyo.ac.jp/kodomolegal/>

相談専用電話 048-946-1771 (月曜～金曜 10時～16時)



Instagram

<https://www.instagram.com/legalservicecenterforchildren/>